

星を見る会

3年ぶりの皆既月食

10月8日(水)、揖斐川町中央公民館駐車場で、「皆既月食と星を見る会」が開催されました。

日本で約3年ぶりに見ることができた皆既月食。この日は、雲が少なく絶好の観望日和となりました。訪れた約100人の参加者は天体望遠鏡を覗いて月の変化を楽しみました。午後7時半ごろから約1時間、月が地球の影に入り皆既月食になると赤っぽく見える満月や、その近くで一緒に見える天王星を望遠鏡で見て「びつくり!」「不思議!」と歓声が上がりました。

また、天体望遠鏡にカメラをあてて撮影を楽しむ人や、何度も列に並びなおして、刻々と変化する「赤い月」を観望する人の姿もあり、一夜限りの天体ショーを満喫していました。※次の皆既月食は来年4月4日です。



▲望遠鏡を覗く参加者

福井県大野市で揖斐川町消防団が腕用ポンプ操法を披露

10月12日(日)、福井県大野市で大野市消防団設立60周年記念大会があり、揖斐川町消防団(小島分団)が腕用ポンプ操法を披露しました。

福井県大野市と揖斐郡消防本部は消防相互応援協定を締結しており、揖斐郡の特色ある消防活動として小島分団の腕用ポンプ操法を披露してほしいとの依頼を受け、大会へ参加しました。

実際に使われていた腕用ポンプを使った操法は、団員の勇壮な姿が印象的で揖斐川町でも毎年、出初式で披露されています。

多くの見物客が見守る中、「よいさ、よいさ」の掛け声とともに、筒先から勢よく水が出ると大きな歓声が沸いていました。

その他にも、郡上市消防団や福井市消防団などの参加もあり大会を盛り上げていました。



▲腕用ポンプ操法の様子

コスモス満開でイベント開催

30万本のコスモスがおもてなし

10月12日(日)、満開を迎えた上野のコスモス畑で「コスモス開花イベント」が行われました。

上野地区の、休耕田を利用したコスモス畑では、毎年開花にあわせて地域の人たちによる手作りのイベントが行われており、家族連れなどで賑わいを見せています。

この日も、上野地区のコスモス畑には、多くの見物客が訪れ、畑の中に作られた歩道を散策しながら元気よく咲いた30万本のコスモスを楽しんでいました。

また、会場ではあゆ雑炊やほかほかの焼き芋が振る舞われ、来場者に喜ばれていました。

その他にも、スタンプラリーや子ども向けのゲームなどがあり会場は和やかな笑い声と笑顔であふれていました。



▲満開のコスモス畑と来場者

川と海のクリーン大作戦

美しい水辺環境を保つ

10月18日(土)、揖斐川河川敷を中心に、町内全域で「川と海のクリーン大作戦」が行われました。地域住民や町内の小中学生、揖斐建設業協会、各種団体などから合わせて900人の参加がありました。

国土交通省の提唱するこの活動は、ゴミを拾って河川をきれいに保つことのほかに、取り組みを通じてゴミを捨てない心を育む目的があり、毎年、各自治体や賛同する企業・団体などが参加して行われています。

近年はマナーの向上でポイ捨てなども減りゴミは減少傾向にあります。それでもこの日集まった、ペットボトルや空き缶、粗大ごみなどはおよそ2トンありました。

今後とも皆さんで美しい水辺環境を守っていきましょう。



▲集めてきたゴミを分ける参加者



▲会場を盛り上げた道化師のパフォーマンス

こいやりかすがまつり

10月19日(日)、春日モリモリ村で、「こいやりかすがまつり」が開催され、親子連れや地域の方など多くの人を訪れました。

会場では、子どもたちやサークルの発表や、地元の新鮮野菜や絵菜、民芸品などの販売が行われ賑わいを見せていました。

また、見物客を巻き込んだ道化師「クーリー」のパフォーマンスは会場を笑いの渦に包んでいました。

そのほかにも、地元、春日の太鼓踊りや懐メロ歌謡ショーなどがあり、来場者は楽しい1日を過ごしました。

カウントダウン開始セレモニー

～合併10周年まであと1000日～

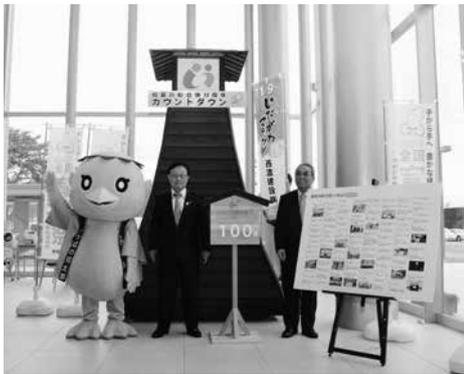
平成17年1月31日に町村合併した揖斐川町は来年1月31日に合併10周年を迎えます。

10月23日(木)、合併10周年まであと1000日となったこの日、役場ロビーで「カウントダウン開始セレモニー」が行われました。

セレモニーでは、宗宮町長と町のマスコミ「かつぱの河太郎」が残り日数を示すカウンタダウンボードの除幕を行いました。

除幕を行った宗宮町長は「次の10年に向けてオール揖斐川町の意識を高めたい」と挨拶しました。

このカウントダウンボードは、役場ロビーの清流まるヶ(いびがわの祭り)で設置された川湊灯台モニユメントの前に10年の歩みが紹介された年表と共に展示されています。



▲もうすぐ合併10周年 カウントダウン開始

いびの秋まつり

～軽トラ市や踊り盛況～

10月25日(土)、本町通り(三輪)で「いびの秋まつり」が開催され家族連れや地域住民で賑わいました。

いび祭り実行委員会が企画したこの催しは、地域振興や賑わい創出を目的に開催されており今年で2回目です。

行灯や手作りのペットボトルキャンドルが飾られ祭り風情たっぷりの通りでは複数の軽トラックがお店になる軽トラ市が催され、新鮮な野菜や果物、生花などが荷台にずらりと並び盛況でした。

また、揖斐おわらの会によるおわら踊りや路上ライブ、よさこい、バザーなどもあり来場者を楽しませていました。



▲おわら踊り(揖斐おわらの会)

間伐材活用おもてなし事業

～児童ら間伐材打ちを体験～

来年秋に揖斐川町谷汲で開かれる「第39回全国育樹祭」に向けた取り組みとして10月28日(火)、「間伐材活用おもてなし事業」が開かれました。

この取り組みは、全国育樹祭の来場者を迎える花飾りのプランターに使う間伐材の搬出や枝払いを児童らが体験するもので、町内の小学生児童167人が参加しました。

搬出体験では長さ2メートルほどのスギにロープを掛け、児童らが「よいしょ」と声を合わせて運び出しました。枝払い体験では、鋸を使って丁寧に枝を払っていました。

また、10月25日(土)と26日(日)には、岐阜県庁前公園で、全国育樹祭1年前イベント「清流の国ぎふ森の恵みの感謝祭」が開催されました。



▲間伐材を運び出す児童

徳山ダムで水陸両用バス運行

～深まる秋の景色を堪能～

11月1日(土)から6日(木)の期間(2日は除く)、徳山ダムで水陸両用バスが運行し、県内外からのツアー参加者が湖上のクルーズを楽しみました。通常の観光バスより車高が高く後部にスクリーンが付いているこのバスは、陸上からそのまま入水でき、水上では時速8キロほどで進めます。

参加者は、ガイドの徳山ダムや旧徳山村の説明に耳を傾けながら、深まる秋の景色を楽しみました。

初日に乗車した名古屋市からの参加者は「天候があまり良くなかったが、山の木々が霞んで見える姿も幻想的でよかった」と評価していました。

町が企画した今回の湖上クルーズは、滋賀県長浜市の琵琶湖ツアーのバスを使用した試験運行で、本格的な導入については今後検討することになっています。また、同じ期間で徳山ダムの観光放流も行われ、見物客を楽しませていました。



▲水しぶきを上げる水陸両用バス

恋のつり橋フェスティバル

～恋愛のパワースポットで結婚式～

11月3日(月)、恋のつり橋(久瀬地域)で「恋のつり橋フェスティバル」が行われました。

揖斐川に架かるこの橋は、長さ約80メートルの木製のつり橋で、周辺には、鐘や結ばれ地蔵などがあり恋愛成就のパワースポットとして人気を博しています。

久瀬まちづくり協議会主催のこのイベントでは、実際に結婚式を行います。

この日、結婚式を挙げたのは、大阪府門真市の濱上さん夫妻で、毎年冬に揖斐高原ヘスキーに訪れているのがきっかけでこの地を選んだと話していました。

橋を渡り三々九度などの儀式を行った二人が大勢から祝福の拍手が送られました。

また、その他にもバザーや琉球舞踊などもあり来場者を楽しませていました。



▲三々九度の様子

セントジョージマラソン派遣団
体験報告が届きました!

10月1日(水)～10月8日(水)の8日間、セントジョージマラソン派遣団として、セントジョージマラソンに参加したランナーの皆さんから、報告書が届きましたので紹介します。

いびがわマラソン2013
総合男子優秀選手 山中孝一郎さん

私は難聴者であるため、ホストファミリーとのコミュニケーションに不安がありました。しかし、携帯電話の翻訳アプリや筆談を利用してコミュニケーションを取り、リラクセスが出来ました。

セントジョージマラソンのコースは、日本にはない周りが岩だらけの壮大な風景の広がる大自然の中、大半は下るコースで一本道路。自分はいびがわマラソンの優勝者として出場しており、入賞を目標としました。

しかし、序盤の下り坂によるダメージが想像以上大きく、中盤からズルズルとペースダウンしてしまいました。入賞圏外になるとさらに苦しかったです。ここまで来たら楽しみ、最後まで走り切ろうと思えました。

それぞれの国際交流が今後とも益々発展し、継続的に行きますよう心より願っております。ありがとうございました。

いびがわマラソン2013
総合女子優秀選手 田村あすみさん

日本のアスファルトと違って地面がとてめかたく感じました。派遣団やホストファミリーの応援を見て、とても元気をもらいました。

走っているランナーから「Are you from IBIGAWA?」と何人かに聞かれ「Yes!!」と答えると「Good job!!」と励まされました。またその聞かれた人の中には揖斐川町に行ったことがある人もいました。「BIGAWA」という言葉が共通語に思えるほど、ランナーに「いびがわ」が知られていました。「いびがわ」でランナーたちとつながった気がしました。揖斐川町とセントジョージ市との交流の深さを知りました。しばらく走ると広大な景色が目の前に広がってきました。

朝日が見えてきた時には本当に絶景で素晴らしい眺めにもない景色でした。その景色に見とれていっているうちに自然と足が動いていました。

結果は年代別では入賞、タイムも自分の中で目標にしていた3時間をきることができました。

揖斐川町とセントジョージ市との国際交流の歴史の深さに感動しました。



▲スタート地点での記念写真